

優しく強い子に！



<http://www.minamih.net/>
19・4・22(月)
南NEWS no 8

子どもの可能性・可塑性

4月20日(土)文化大G, U-12はなかの戦でした。

前半立ち上がり撃たれたミドルシュートで先制されながらも、その後は南の攻勢が続きました。

右CK, 相手ゴール前へいいボールが上がりました。しかし、誰も合わせられる子はいませんでした。走りこんできたワヘイ君の前でバウンドして左サイドへボールは転がっていきました。

4月21日(日)川町G カップ戦 vs 七小戦。試合前にワヘイ君に

「なかの戦の右からのCK。頭で合わせられたね」と言いました。

心に期するものがあつたのでしょうか。なかの戦。2-0から1点を返された直後の右CK。キッカーのシ

ツクさん(RMF)からユウシン君(RDF)にショートコーナー。ユウシン君がダイレクトでカーブのクロスをゴール前へ。走りこんだワヘイ君(LMF)が見事に頭で合わせて相手を突き放す3点目をゲット！！

前日よりはるかに難しい斜め後ろからのクロスにぴったりと合わせたファインゴールでした。一日で見違えるようなプレーに子どもの可能性・可塑性をあらためて感じました。
by 南のアンパンマン

6年生春季カップ戦 3回戦

2019/4/21(日) 川町グラウンド



《試合のめあて》

- ・5つ観てコーチング・アーリーヒット・ハイプレス
- ・ミドルサードでシュートを打たせない。

《結果》

○南八王子3-1七小 前半2-0

得点 セイジュン君2(A:シオン君, レオン君)

ワヘイ君(A:ユウシン君)

《当日の様子》

カップ戦。U-12と3戦続けて相手に先取点を取られており、今日は開始からめあてにもあるハイプレスを全員で意識して試合に臨みました。

前半3分、シオン君からのゴールキックを相手最終ディフェンスを体で抑えこんだセイジュン君が独走となり、落ち着いてキーパーもかわして早々に先制。

14分には右サイドをドリブルで持ち込んだレオン君からのパスをセイジュン君が直接シュートを放ち、一度はキーパーに弾かれるもこぼれ球を押し込み追加点を奪い、前半を2-0で折り返します。

後半も前半の勢いで追加点を奪いにいきましたが、相手の寄せの早さに苦戦し緊張感のある状態が続きます。

後半12分、ファールで与えた相手フリーキックが壁に当たって方向が変わり不運な失点。流れは一気に7小へ傾きかけたところ右サイドバックに起用されたばかりのユウシン君がショートコーナーを要求し、直接中へ折り返したボールにワヘイ君が頭で合わせ見事なゴールを奪いました。嫌な流れを変える貴重な追加点でした。このまま3-1で勝利しベスト8進出を決めました。



《コーチ所見》

早々に先制点を奪い全員出場でベスト8に進むことができました。しかし、コーチングの声はほとんど聞こえずめあてにあげたことはほとんどできていなかったと思います。それでも勝てるのは個々の力があるからこそです。

これから戦う相手はさらに強敵になります。1人1人がチームのために声をだしハードワークすることが本当に重要になってきます。そんなチームになった時にどこまで強くなるのかいつも楽しみにしています。

全員で上柚木を目指しましょう！

by 岡村コーチ

優しく賢い子を育てるには

今、講師として勤務している学校で、昨年度は1年生A君の個別指導を担当しました。2年生になった今年も続いて指導しています。

A君は本が大好きで、子ども新聞も読んでいるお子さんです。休みの日には南大沢にある自然公園に行って親子で散策し、自然とのふれあい、親子の語りを楽しんでいるそうです。

A君と一年間過ごすことで、数年前に別の学校で生活科や音楽、読書指導をしたクラスのある女の子を思い出したのです。そのB子さんにも読書好きで、1年生である厚いハリーポッターの本を読む女の子でした。

休みの日はお母さんと手をつないでいろいろなお話をしながら北浅川の土手を散歩したり、近くにある自然豊かな公園に遊びに行く女の子でした。お母さんとの花や鳥の話も楽しいとのことでした。

生活科の観察記録には疑問に思うことや感動したことがいつも書いてありました。どんなふうに行っているのかなと読ませてもらうのが楽しみでした。

性格はどちらの子も穏やかで友達に優しく、いつも自分は後にして、ニコニコしている子でした。どちらも語彙が豊富で、学力は高いものがありました。

今年南を卒業したC君にも同じ感じを持っていました。

by 南のアンパンマン

